

地震が起きたら!!

6月16日の昼さがり、新潟市を中心に山形、秋田の各地に起つたあの大地震の恐怖と惨事はまだ記憶に新しいと思います。天災だとはいえ災害を受けた方々に対して深くご同情申し上げます。

よく「災害は忘れたころにやってくる」といわれますが、災害の中でいちばん忘れたころにやってくるのは地震ではないでしょうか、突発的に起る地震の予測は現在の進んだ科学をもつてしてもむずかしいといわれており、私達はまず、地震が起きた場合に備え、その心がまえを常に知っておく必要があると思われまふ。このことが地震が起きた場合にその被害を最小限度にとどめることにもなるからです。市の消防署では、不時の事態に備え、次のような地震心得を発表しておりますので、皆さんは次の事項を良くお読みいただいて災害からわが身と財産を守るために、常にこのことを頭に入れておいて下さい。

地震の心得

- ◎ 室内におつて逃げるいとまがない時は、丈夫な家具などに身をよせること、机の下へ入つてもよい
- ◎ 外にいた時は、せまい路地、塀のわき、崖、川べりなどに近寄らない事
- ◎ 手早く火の始末をおこなうこと、ナベ、すり鉢、馬穴などを火気にかぶせるようにする
- ◎ 1分ないし2分すぎたらまず安心である(余震は弱いものです)
- ◎ 人命損傷防止には火事を出さぬことが第一である
- ◎ 山間部では山津波、ガケくずれに注意すること
- ◎ 地震のあと、まだ余震がある時はおそれず、デマにだまされないこと
- ◎ 電話などの通信が途絶するので、火災などの時は駆つけて一刻も早く消防機関へ連絡すること
- ◎ 外にとび出す時は、なるべく空地をえらび、地割れが生じても渡つて歩けるように板を持つて追けること
- ◎ 木造二階建ての家屋では、二階がそのまま一階に落ちるので、一階は危険ですから注意すること

夏を涼しく

くらすには

暑い暑いといつてはだかになるのは逆効果の場合があります。

とくに赤ちやんは、はだかにしておくとかえつてアセモができます。タオルやめんでできた下着を一枚着せておくとあせをすいとり、かえつてすずしいものです。

赤ちやんにかぎらず、子供はひる寝をすると、あせをかくものです。水まくらをしてやると気持ちよくねむります。

おとなでも、この水まくらは案外涼しくて気持ちのよいものです。

暑いといつて水をかぶる人がいますがこれも逆効果です。水をかぶるとかえつてあとがカツカツしたり、からだのベトつきがとれません。それより、ぬるま湯の行水がさつぱりするそうです。

ルームクラーでもそなえつけてあればそれにこしたことはありませんが、今年の夏も涼しくすむ方法をもつと研究してみようではありませんか。

伝染病予防注意報発令!!

市の厚生課では、各地で食中毒や赤痢の集団発生が毎日のように報道されているおりから、大館市から、この恐ろしい伝染病をなくすため、次のような注意事項を呼びかけて、市民の皆さんのご協力をお願いしております。

(注 意 事 項)

- ◆ 環境の清掃につとめること。
- ◆ 病気に負けないよう、いつもからだをきたえておくこと。暴飲暴食、寝不足などをしないように注意する。
- ◆ 病人(赤痢患者や保菌者)は絶対にたべものを取り扱はないこと。
- ◆ 清潔、とくに食事の仕たくをする人は手洗を充分にしてください。
- ◆ 安全で衛生的な水を利用し、井戸水などは定期的に検査をうけること。
- ◆ ネズミ、ハエ、ゴキブリなどの駆除を徹底すること。
- ◆ なるべく生のものを食べないこと。食品の残つたもの、食品のたくわえには十分注意し、よく煮たり焼いたりして細菌を殺すこと。



子供を水から
守りましょう

ついききほどまで笑顔で、遊んでいたのに、ちよつと目をはなした間に水におぼれ、変りはたて我が子をだきしめるお母さんの驚きと悲しみはどんなでしょう

5月のある町のできごとです。家の近所で遊んでいた3つになる坊やが夕方になつても帰つてきません。心配になつたお母さんが探しまわつたところ、どうでしょう……かわいそうに坊やはすぐ家の近くの防火用水の中に浮いていたそうです。

これから水あそびが多くなります。この様な悲しい事故から子どもを守るため川、用水堀、ため池などであそぶ子供さんから、決して目を放さないようにしてください。危険な場所には、サクなどをつけて、みんなで見守つて安全な場所であそばせるようにしましょう。

トピックス

6月10日、釈迦内地区で発見された世界でも有数な銅鉱床を視察のため当市を訪れた日本、同和、三菱の各社長は、市役所で佐藤市長と共に記者会見にのぞみ、釈迦内地区の埋蔵量は約1億トン?はあるだろうとの発言、儀礼とはいえ、大館にとっては嬉しい話。



[記者会見する三者の社長と佐藤市長]